

まちの未来を考える住民説明会

大淀病院跡地の認定こども園建設と
近鉄下市口駅周辺地区のまちづくりについて

日時：令和4年10月15日(土)

第1部 午後2時～

第2部 午後6時30分～

場所：大淀町文化会館あらかしホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 説 明

(1) 第4次総合計画後期基本計画と財政状況について・・・【資料1】

(2) 子育て支援・少子化対策プロジェクトについて・・・【資料2、3】

(3) 下市口駅周辺まちづくりプロジェクトについて・・・【資料4】

4 質疑応答

5 閉 会

まちの未来を考える住民説明会

大淀病院跡地の認定こども園建設と
近鉄下市口駅周辺地区のまちづくりについて

10/15 (土) 第1部 午後2時から
第2部 午後6時30分から

場所：大淀町文化会館 あらかしホール

オンラインでの視聴もおこなっていただけます。

第1部



<https://youtu.be/xnLcEkF4ifg>

第2部



<https://youtu.be/wwk6ZSHJKlg>

第1部、第2部は同じ内容です。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各部の定員は300人となります。定員を超えた場合、入場をお断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。

大淀町

今回開催の「まちの未来を考える住民説明会」は、大淀病院跡地に建設します『認定こども園』と『下市口駅周辺地区のまちづくり』について説明を行い、住民の皆さまのご意見をいただきながら、一緒にまちの未来について考えていきたいと思えます。



町立認定こども園 完成イメージ

「子育て支援拠点施設」として、次の施設を整備します。

認定こども園

町立幼稚園と町立保育所の機能を統合した町立認定こども園を整備します。

発達支援室

心身の発達に配慮が必要なこどもを対象に訓練指導や助言・相談等を行う発達支援室を整備します。



病後児保育室

病気の回復期にあるこどもを一時的に預かる病後児保育室を整備します。

地域子育て支援センター

小学校就学前のこどもとその保護者を対象にサークル活動や講演会、育児相談など、地域における子育て家庭の交流を促進するための地域子育て支援センターを整備します。

下市口駅周辺まちづくりのこれまでの経緯

「大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区まちづくり基本構想（平成29年3月策定）」より

大淀町は吉野川文化圏の一部として古くから交通の要衝として機能し、千石橋の建設、吉野鉄道下市口駅の開設等、産業経済の伸展とともに発展してきました。また、近代に至るまでの数多くの豊かな文化的資源を有し、吉野川水系を中心とした豊かな自然環境のなか、人々の生活とともにその賑わいの跡を今に伝えています。

しかし、近鉄下市口駅前から吉野川へ続く商店街の近代的な賑わいの姿、古代から続く伊勢街道沿いの商家の賑わいの姿は、少子高齢化及び人口減少により影を潜めており、さらに、1955年の開設以来、吉野郡の総合医療病院として地域住民の医療・福祉・健康保全に大きな役割を果たしてきた町立大淀病院が閉院したことも重なり、町の中心部の衰退に拍車がかかることが危惧されています。

そのようなことから、本町においては地域住民の方、事業者の方、学生などを交えた「まちづくりワークショップ」を開催し、この地域の魅力や現状・課題などを出し合いながら、子育て世代から高齢者まで幅広い世代の住民が交流できる場や観光客等も集まれる場を目指す「大淀病院跡地及び下市口駅周辺地区まちづくり基本構想」を策定しました。

この基本構想では、「町立大淀病院跡地周辺」「近鉄下市口駅周辺」「下淀商店街周辺」「吉野川周辺」という4つのエリアを設定し、それぞれの現状に対して7つの課題を抽出し、その解決に向け取り組むこととしています。

- 【課題1】 地域住民のコミュニティを維持する交流の場の確保
- 【課題2】 周辺地域も含めた医療・福祉・健康の機能の集約
- 【課題3】 観光客が訪れる魅力ある地区の創出
- 【課題4】 吉野川を中心とした自然環境の活用
- 【課題5】 吉野郡の玄関口としてふさわしい駅周辺の整備
- 【課題6】 吉野郡及び奈良県南部の観光拠点との観光ネットワークの形成
- 【課題7】 歴史的建築物や空き店舗、空地を活用したイベント等によるまちの活性化



まちづくりワークショップの様子（H28）

お問合せ：大淀町役場 建設環境部建設産業課

電話：0747-52-5543

メール：kensetsusangyou@town.oyodo.lg.jp